

令和8年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	歴史総合	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	わたしたちの歴史 日本から世界へ 改訂版（山川出版社）					
学習の到達目標	1 現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 2 近現代の歴史事象の意味・意義・特色を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題の解決を構想したりする力を身に付け、考察・構想したことを説明したり、議論したりすることができる。 3 近現代の歴史事象から、より良い社会の実現を視野に課題を追究・解決する態度をもち、多面的・多角的な考察や深い理解により日本国民としての自覚、自国や他国の歴史・文化を尊重することにより、平和で民主的な社会の形成者となる。					
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現		c. 主体的に取り組む態度		
	近現代の歴史事象を世界的な視野で捉え、理解している。 諸資料から歴史に関する情報を読み取ることができる。 近現代の歴史を効果的に調べ、まとめることができる。	歴史事象の意味・意義・特色を世界的な視野で考察することができる。 歴史的な課題の解決を構想することができる。 歴史事象に関する考察をもとに、説明したり、議論したりすることができる。		歴史の学習により、よりよい社会の実現をめざす態度を示している。 自国・他国の歴史・文化を尊重する態度を示している。		
評価の方法	考査、授業の参加状況、提出物（レポート）により評価する。					
	単元		主な学習内容			
前期	1 歴史の舞台		・近現代史の背景となる各地域の古代から中世の歴史を学ぶ。			
	2 歴史の扉		・近現代史の学習と私たちとの関係、資料の基本的な読み取り方を学ぶ。			
	3 近代化と私たち		・近代の始まりから第一次世界大戦前の歴史を学び、主権国家体制や民主主義の原則、日本の近代社会形成の課題について考える。			
	4 国際秩序の変化や大衆化と私たち		・第一次世界大戦から大衆社会が到来するまでの歴史を学び、帝国主義や大衆社会の課題について考える。			
後期	1 国際秩序の変化や大衆化と私たち		・世界恐慌から第二次世界大戦後の国際秩序の確立までの歴史を学び、戦争と平和、新たな国際秩序の課題について考える。			
	2 グローバル化と私たち		・20 世紀後半以降の歴史を学び、地球規模の人・モノ・カネ・情報の動きや結び付き、多極化する国際社会の課題を考える。			